

Market Watching

発表日: 2020年4月27日(月)

GW明けには市場の方向性も見えてくるか(マーケットウィークリー)

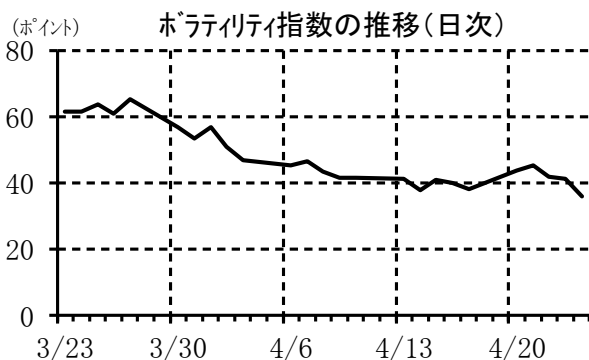
～欧米の感染減少が明確化しなければ不安定化が増す恐れも～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
4月20日(月)	日本: 貿易統計 (3月) ・ 輸出 ・ 輸入 ・ 貿易収支	▲11.7% ▲5.0 +49	▲9.5% ▲9.2% +4,546	▲1.0% ▲13.9% +11,088	前年比 前年比 億円
4月21日(火)	ドイツ: ZEW景況感調査 (4月) ・ 期待指数 米国: 中古住宅販売件数 (3月)	+28.2 527	▲42.0 540	▲49.5 577	ポイント 万件
4月22日(水)	トルコ: 金融政策委員会	8.75%	9.25%	9.75%	1週間物レバ 金利
4月23日(木)	日本: PMI製造業景気指数 (4月) PMIサービス業景気指数 (4月) 英国: 小売売上高 (3月) ・ 除自動車燃料 ユーロ: PMI製造業景気指数 (4月) PMIサービス業景気指数 (4月) 米国: PMI製造業景気指数 (4月) PMIサービス業景気指数 (4月) 米国: 新築住宅販売件数 (3月) 米国: 新規失業保険申請件数 (4/18終了週)	43.7 22.8 ▲3.7% 33.6 11.7 36.9 27.0 62.7 4,427	— — ▲4.0% 38.0 23.0 38.0 31.3 64.4 4,500	44.8 33.8 ▲0.5% 44.5 26.4 48.5 39.8 76.5 5,245	ポイント 万件 前月比 ポイント ポイント ポイント ポイント 万件 千件
4月24日(金)	日本: 全国消費者物価指数 (3月) ・ 総合 ・ 除生鮮食品 日本: 全国百貨店売上高 (3月) ・ 店舗数調整後 ドイツ: ifo景気動向指数 (4月) 米国: 製造業受注 (3月) ・ 耐久財 ・ 非国防資本財 (除航空機) 米国: ミシガン大学消費者信頼感指数 (4月確報値)	+0.4% +0.4% ▲33.4% 74.3 ▲14.4% +0.1% 71.8	+0.4% +0.4% — 79.9 ▲10.0% ▲3.3% 68.1	+0.4% +0.6% ▲12.2% 86.1 +1.2% ▲0.9% 71.0	前年比 前年比 前年比 ポイント 前月比 前月比 ポイント
4月25日(土)	—	—	—	—	—
4月26日(日)	—	—	—	—	—



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.601	▲4.1	▲14.7	▲209.3	0.242	0.844	1.323
日本	-0.025	▲3.5	▲6.0	+2.0	0.007	-0.029	-0.099
ドイツ	-0.473	▲0.1	▲15.1	▲46.1	-0.399	-0.420	-0.426
豪州	0.880	+2.2	▲1.6	▲90.8	0.863	0.951	1.044
株価							
NYダウ	23775.20	▲1.9	+14.8	▲10.6	22584	25593	26618
日経平均	19262.00	▲3.2	+6.5	▲13.2	18968	21046	21838
ユーロSTOXX50	2809.07	▲2.7	+3.5	▲19.8	2799	3252	3454
上海総合	2808.53	▲1.1	+3.2	▲12.3	2790	2898	2925
為替相場							
ドル/円	107.51	▲0.0	▲3.3	▲4.2	108.41	108.76	108.32
ユーロ/円	116.35	▲0.5	▲3.0	▲7.0	118.08	119.37	119.60
豪ドル/円	68.49	+0.0	+3.4	▲13.0	67.25	70.37	72.53
ユーロ/ドル	1.0823	▲0.5	+0.3	▲3.0	1.089	1.098	1.104
商品市況							
WTI	16.94	▲7.3	▲29.4	▲74.3	18.84	37.80	49.72
金	1723.5	+2.0	+3.8	+35.1	1675	1613	1537

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

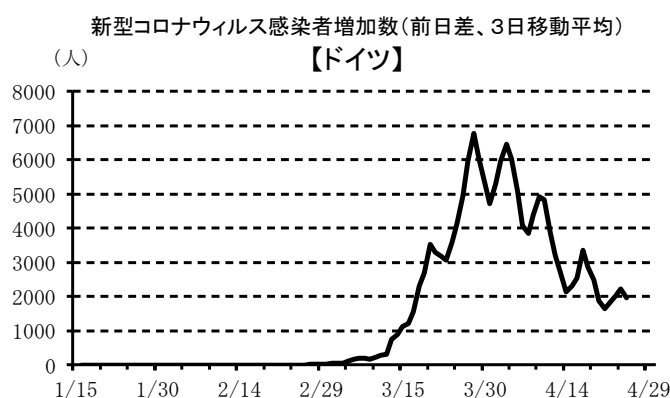
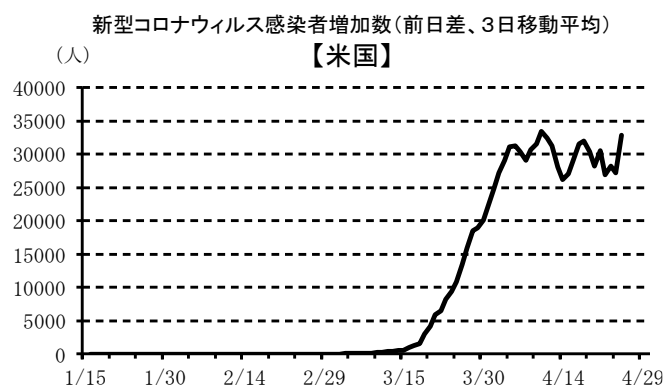
先週 (4/20~4/24) の金融市場は、引き続き方向感に欠ける展開が続いた。欧米でのコロナウイルスの感染鈍化への期待は継続したものの、足元での鈍化への動きは緩慢で、大きな前進は見られなかった。一方で、週内に発表された経済指標は一段と悪化、あるいは歴史的な低水準にとどまったこともあり、足元への景気が極めて厳しい状態にあることが示された。感染収束への動きが確実なものにならない状況で、極めて厳しい環境が長期化するのではないかと懸念が払拭できないことで、不安定な動きが続いていると考えられる。

今週のマーケットは、日米欧で金融政策の決定会合が実施されるほか、米国の1~3月期の実質GDPなど注目される経済指標の発表もあり、材料は多い。金融政策では、特に大きな変化が見込まれているわけではない。日銀は、80兆円としていた国債の買い入れ目処を無制限へと変更する方針と報道されているが、イールドカーブコントロールに金融政策の主眼が置かれている以上は、実質的な変更はない。各国中銀が執っている政策は、コロナ禍によって停止状態にある経済環境における資金融通機能と市場安定機能にとどまるしかなく、その点においてはこれまでのところ十分に果たしているといえよう。やはり市場を左右するのは経済活動再開の時期であり、これを決定する唯一の条件が感染の収束であることから、どうしても各国の感染者数に目が向くことになる。経済指標は注目度が高い材料ではあるものの、平時のように景気の方角性や傾きを測るものではなく、足元では経済活動が停止状態にある局面での“景気のひどさ”をはかる指標でしかない。

感染の収束が遅れた場合は、企業業績への影響がより深刻となり、雇用の悪化、個人の所得環境の悪化へと繋がり、感染が収束しても経済活動の再スタートは弱々しいものとならざるを得ない。長期

化することによる経済要素の疲弊を回避するためには財政面からの追加のフォローが必要で、財政負担もより大きくなる。市場が織り込んでいるのは、年半ばまでに感染が収束し、年後半には経済活動がほぼ制限なく再開されていく姿だ。そのためには、そろそろ感染者の減少傾向が明確になっている必要がある。

足元では、欧州での一日あたりの感染者数は減少傾向にある。しかし、そのペースは極めて緩やかで、未だに一日1000人以上の感染者が確認されている。一部では、外出制限措置などを緩和している動きもあるが、感染者数がまだ多いことから、“早すぎる緩和”ではないかとの懸念もある。そうであるか否かは、向こう1~2週間程度で感染者数の減少に歯止めがかかる形で見えてこよう。一方、米国では感染者数の加速には歯止めがかかっているものの、高止まりが続いている。トランプ大統領やNY州知事は、最悪期は過ぎたとの見方を披露しているが、経済にとって、そして市場にとって重要なことは、いつ経済活動が再開されるのか、という一点だ。5月1日には、米政府による「社会的距離指針」が期限切れを迎え、その後の判断はトランプ大統領が公表した経済活動再開への指針に基づいて、感染者数の減少傾向が一定基準を満たした地域から順次実施される。もっとも、NY州は社会的距離指針に基づいた都市封鎖の2週間延長を決めており、その後感染の収束を見ながら経済活動再開への指針に基づいて規制を緩和していったとしても、経済活動の制限がほぼなくなるのは6月下旬までずれ込む。要するに、この先2週間程度で市場の期待通りの先行きとなるかどうか概ね判明するということだ。それまで、方向感に欠ける展開がしばらくは続こう。



【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
4月27日(月)	日本：日銀金融政策決定会合・政策金利 ・10年債利回り操作目標 ・国債買い入れ目処 ・日銀総裁記者会見	★★★★ ★★★★ ★★★★	▲0.10% 0.00% —	▲0.10% 0.00% 80	日銀当座預金残高金利 10年物国債利回り 兆円
4月28日(火)	日本：労働力調査・失業率(3月) 日本：一般職業紹介状況・有効求人倍率(3月) スイートン：金融政策委員会 米国：消費者信頼感指数(4月) 米国：リッチモンド連銀製造業指数(4月)	★★ ★★ ★ ★★★★ ★★	2.5% 1.40倍 0.00% 90.0 ▲35.0	2.4% 1.45倍 0.00% 120.0 +2.0	ポンド金利 ポイント ポイント
4月29日(水)	米国：実質GDP速報値(1-3月期) 米国：FOMC・上限金利 ・下限金利 ・パウエルFRB議長記者会見	★★★★ ★ ★ ★★★★	▲3.7% 0.25% 0.00%	+2.1% 0.25% 0.00%	前期比年率 FF金利 FF金利
4月30日(木)	日本：鉱工業生産指数(3月) 日本：商業動態統計・小売業販売額(3月) 日本：住宅着工戸数(3月) 日本：消費動向調査・消費者態度指数(4月) 中国：PMI製造業景気指数(4月) ドイツ：失業率(4月) ユーロ：実質GDP速報値(1-3月期) ユーロ：消費者物価指数速報値(4月)・総合 ・コア ユーロ：ECB理事会・ECB主要政策金利 ・ECB預金ファシリティ金利 ・ラガルド総裁記者会見 米国：個人所得支出統計(3月)・実質個人消費 ・PCEデフレタ 米国：シカゴ地区PMI(4月)	★★★★ ★★★★ ★★★★ ★★ ★★★★ ★ ★★★★ ★ ★ ★★ ★★★★ ★★ ★★★★ ★★ ★★★★	▲5.0% ▲4.6% 82.8 31.5 51.0 5.2% ▲3.5% +0.1% +0.7% +0.7% 0.00% ▲0.50% ▲1.8% +1.3% 40.5	▲0.3% +0.6% 87.1 30.9 52.0 5.0% +0.1% +0.7% +1.0% 0.00% ▲0.50% +0.1% +1.8% 47.8	前月比 前年比 万戸 ポイント ポイント 前年比 前年比 前年比 前年比 前年比 前年比 前月比 前年比 ポイント
5月1日(金)	日本：都区部消費者物価指数(4月)・総合 ・除生鮮食品 日本：新車販売台数(4月)・乗用車 米国：ISM製造業景気指数(4月) 米国：自動車販売台数(4月)	★★ ★★★★ ★★	+0.2% +0.1% — 39.1 650	+0.4% +0.4% ▲10.2% 49.1 1,137	前年比 前年比 前年比 ポイント 万台
5月2日(土)	—				
5月3日(日)	—				

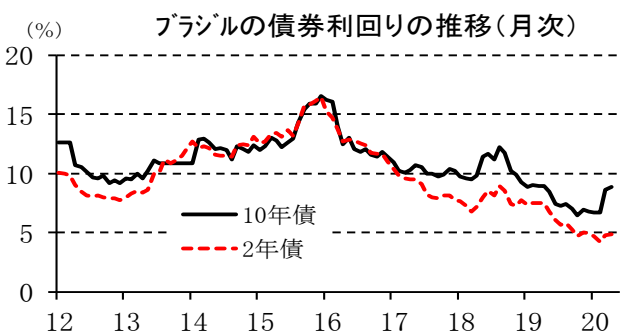
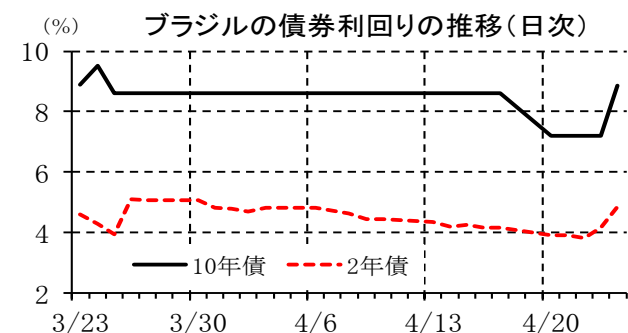
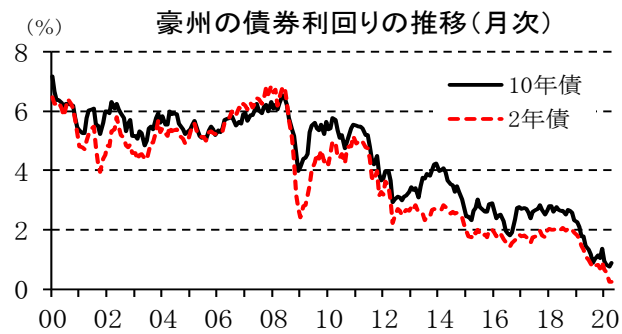
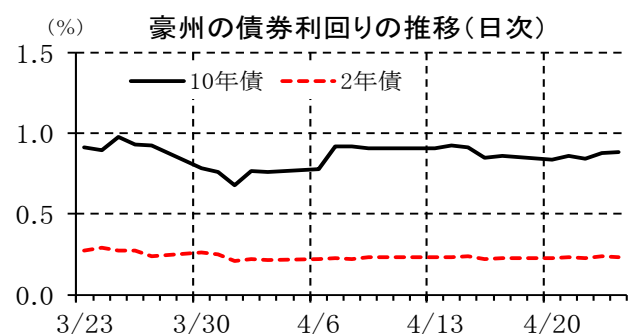
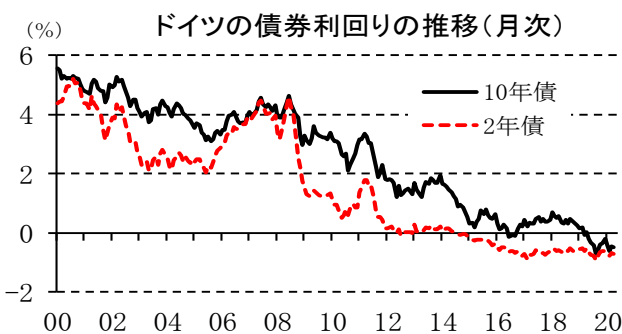
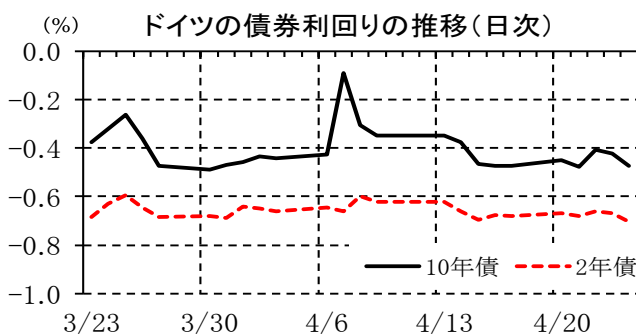
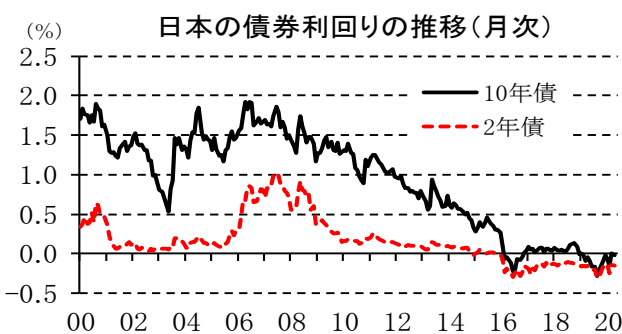
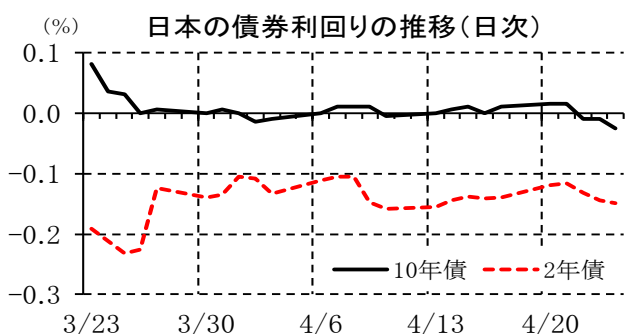
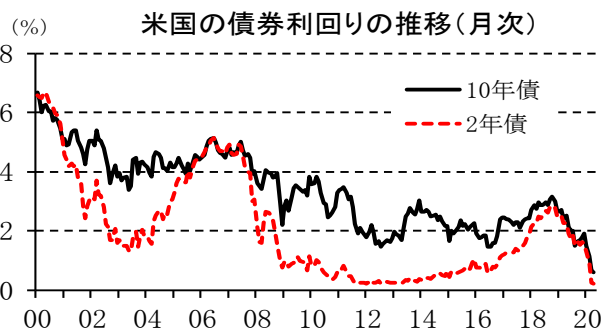
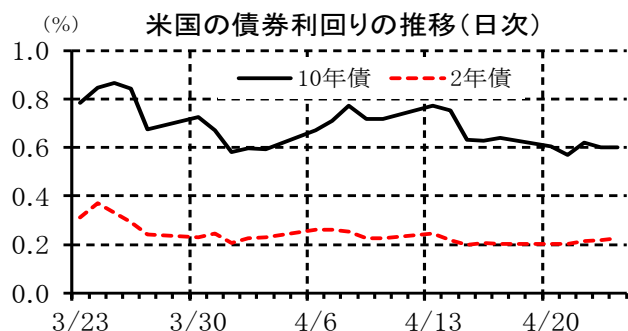
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

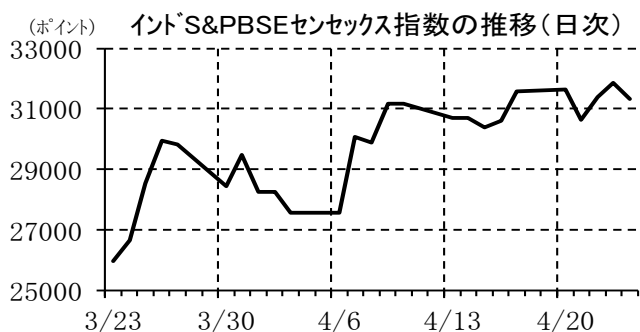
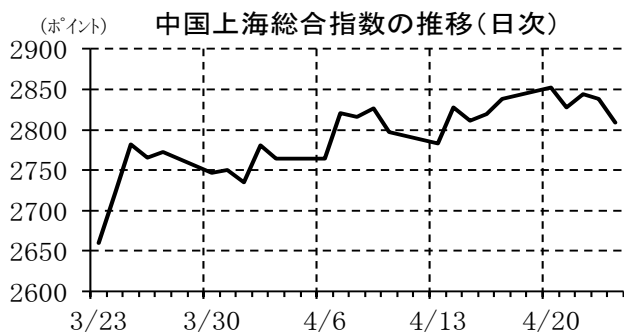
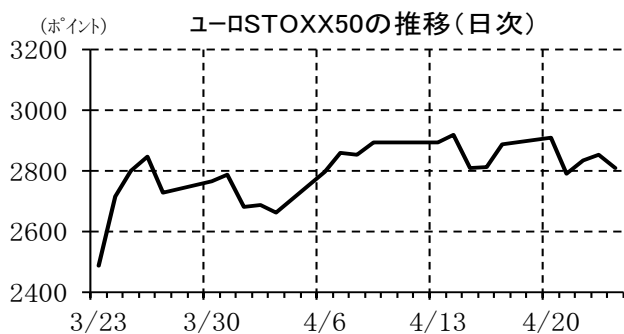
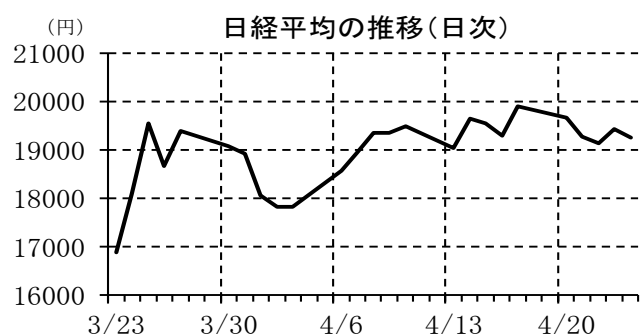
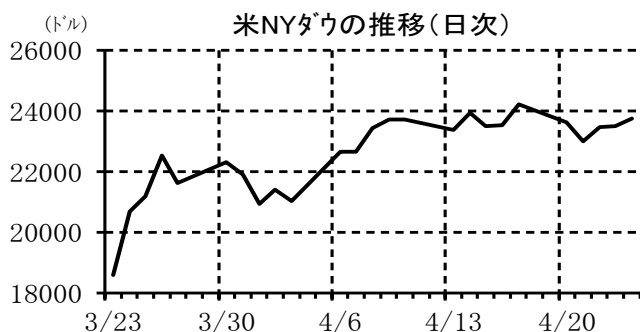
発表日	イベント	注目度	備考
4月27日(月)	日本：日銀展望レポート	★	
4月28日(火)	—		
4月29日(水)	日本：祝日		
4月30日(木)	—		
5月1日(金)	中国：祝日 米国：連邦政府による社会的距離指針期限切れ	★★	
5月2日(土)	—		
5月3日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

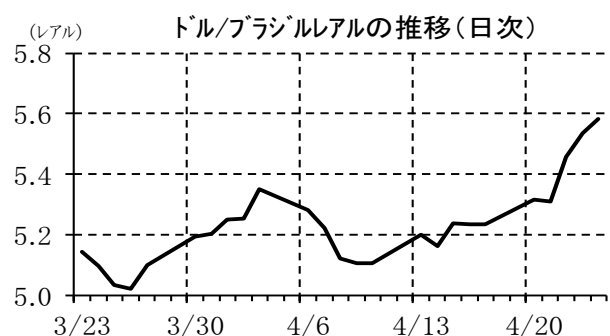
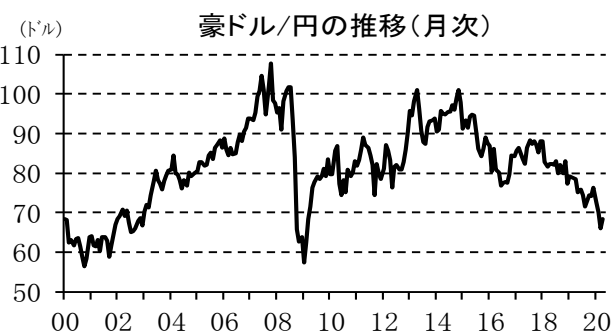
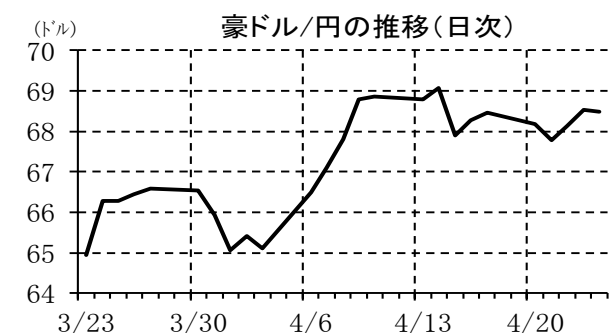
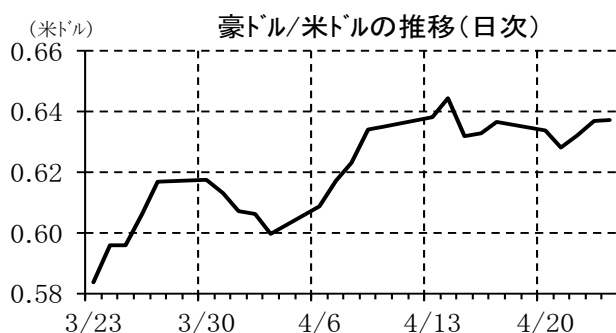
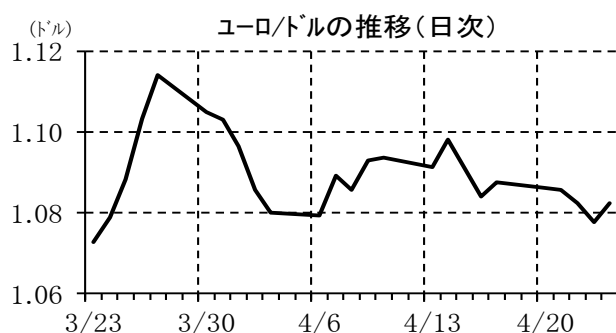
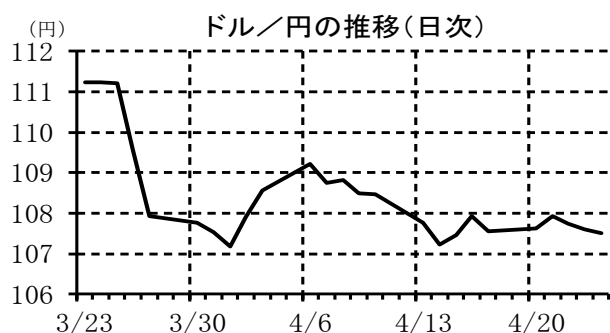
【債券利回り】



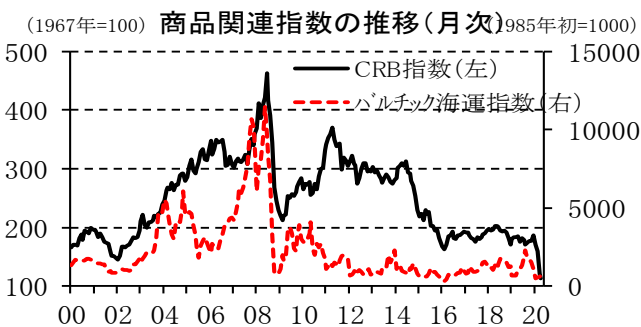
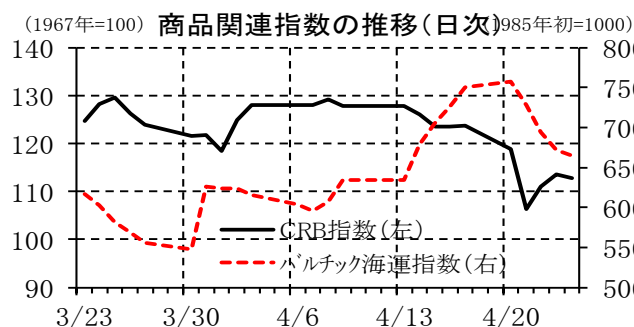
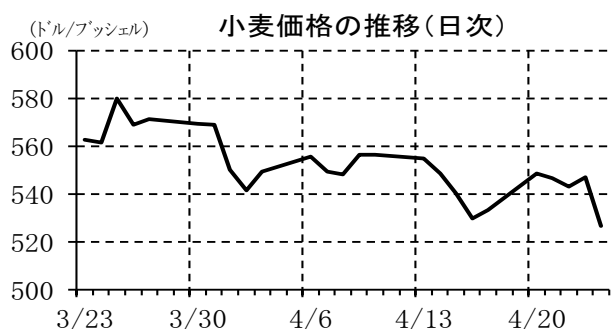
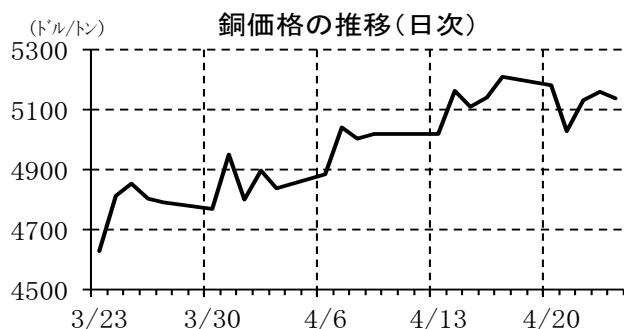
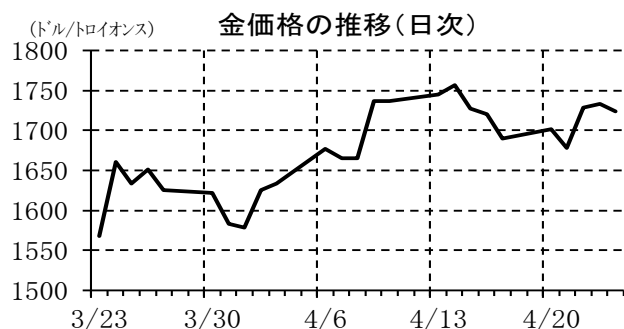
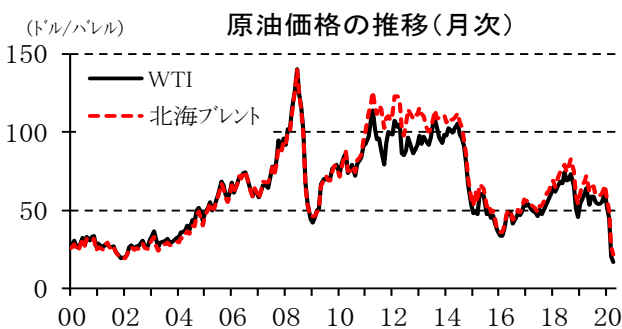
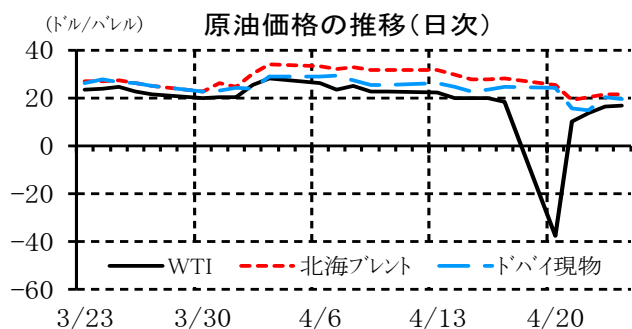
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

